

Dr. Makoto Tachibana



徳島大学疾患酵素学研究中心・教授  
広島大学・客員教授 (両生類研究施設)

立花誠氏

## マウス性決定の エピジェネティックな制御機構

*Epigenetic regulation of sex determination in mouse*

我々は、H3K9の脱メチル化を外す酵素がマウスの性決定に重要な役割を有することを明らかにした。本セミナーでは、性決定を含むマウスの発生過程に、エピゲノム構築因子がどのように関わっているのかについて紹介したい。



Jmjd1a  
欠損  
生殖腺

# 特別セミナー

## 性の生物学

*The special seminar for  
Biology on sex*

日時：3月15日(火)  
午後2時～4時30分  
場所：理学研究科 **E203**  
(大会議室)

共催

両生類研究施設

細胞のかたちと機能  
プロジェクト研究センター

広島大学イノベーション研究拠点

**The Research Center for Animal Science**

基礎研究を畜産技術開発につなげるトランスレーショナル型研究拠点  
- 日本型(発)畜産・酪農技術開発センター -

多数のご参加を  
お待ちしております

問い合わせ先：理学研究科 三浦郁夫  
(7323, [imiura@hiroshima-u.ac.jp](mailto:imiura@hiroshima-u.ac.jp))

Dr. Jun Kitano



国立遺伝学研究所・教授  
広島大学・客員教授 (両生類研究施設)

北野潤氏

## トゲウオにおける性染色体の 進化と種分化

*Sex chromosome evolution and speciation  
in stickleback fishes*



イトヨ

我々は、性染色体の急速転換が観察されるトゲウオ科イトヨ属において、ネオ性染色体のゲノム配列の特徴とその種分化における役割を解明してきた。本セミナーでは、これらの成果と、性染色体上の遺伝子が適応能力の制限を決めていると考えられる最新の知見について紹介する。